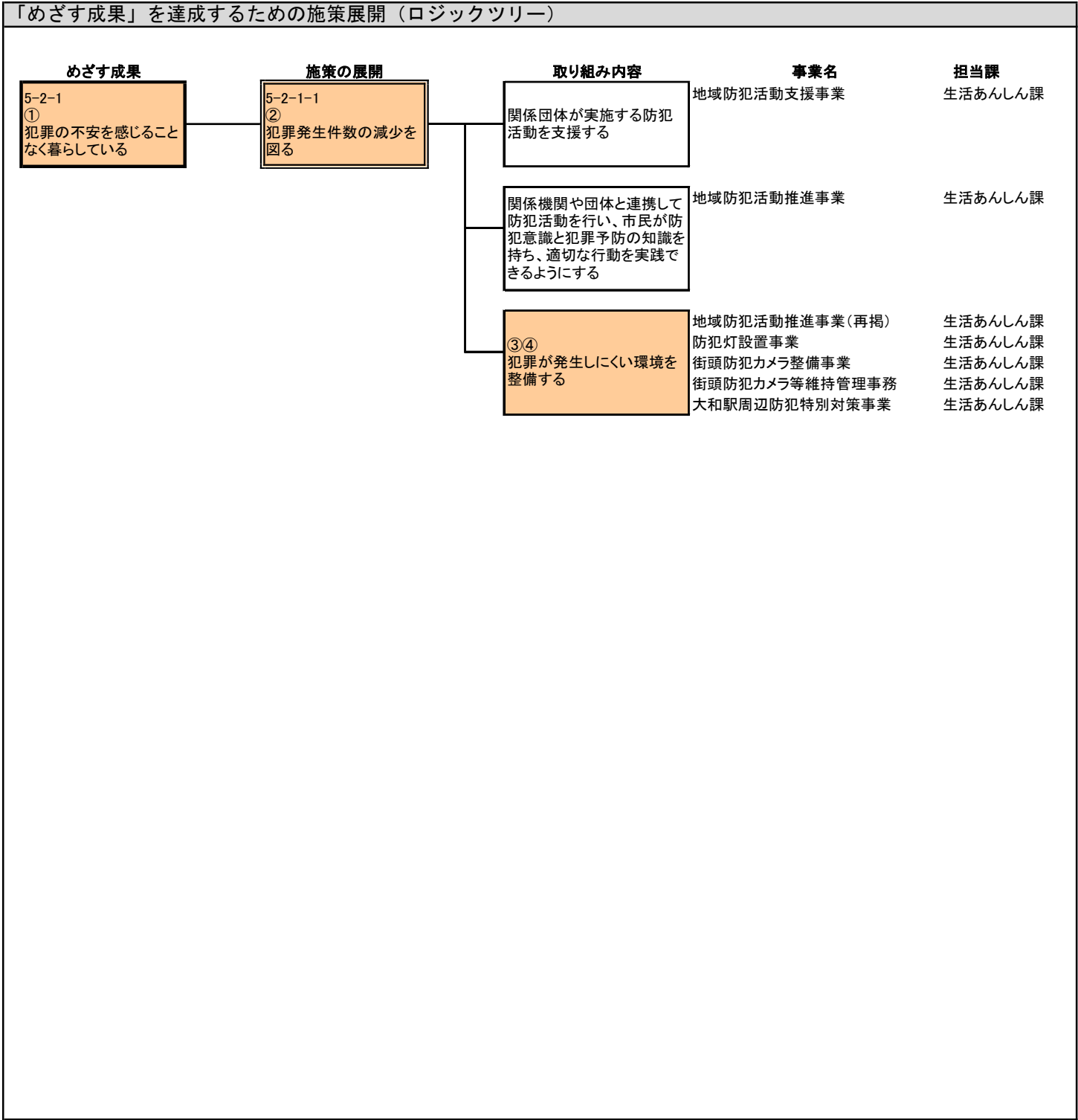


令和３年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
健康領域	まちの健康	
基本目標	５	安全で安心して暮らせるまち
個別目標	５－２	暮らしの安全を守る
めざす成果	５－２－１ 犯罪の不安を感じることなく暮らしている	
	５－２－２	交通事故の不安を感じることなく暮らしている
	５－２－３	安心して消費生活を送っている
	５－２－４	十分な消防力が整っている



所 管 部		市民経済部				
【成果を計る主な指標】						
指標の名称		前期基本計画期間（Ｒ１～Ｒ５年度）				
		計画当初値	実績値 （Ｒ１）	実績値 （Ｒ２）	中間目標値 （Ｒ３）	最終目標値 （Ｒ５）
①	以前に比べて、大和市の治安は良くなったと思う市民の割合	５５．８％			５９．０％	６０．０％
②	年間犯罪認知（発生）件数	１，９９０件	１，５４１件	１，１７１件	１，６９０件	１，５４０件
③	安全安心サポーター活動登録者数（累計）	２０１人	２６２人	２９６人	２６７人	３００人
④	市域面積（km ² ）あたりの防犯灯設置数（累計）	４４９．６灯	４８３．９灯	４９０．７灯	４９５．７灯	５１０．５灯
【令和２年度までの主な取り組み内容及び今後の方針】						
施策の展開		主な取り組み内容		今後の方針		
犯罪発生件数の減少を図る		■市民の防犯意識高揚のため、自治会の一つのブロックを地域安全活動重点地区に指定し、防犯活動の活性化を図りました。 ■特殊詐欺対策として、ＰＳメール等を利用し積極的に情報発信するとともに、迷惑防止機能付電話機購入費の補助を継続して実施しました。 ■警察や小中学校からの要望等を踏まえ、街頭防犯カメラ、防犯灯等を増設し、犯罪の発生しにくい環境づくりに努めました。特に大和駅周辺には、街頭防犯カメラ、防犯灯ともに多数増設し、更に客引き行為等を防止するため、ターポリン横断幕等を更新して治安の向上を図りました。		■市内の刑法犯認知件数等は減少傾向にありますが、身近な犯罪である特殊詐欺や空き巣、自転車盗に関しては他市町村と比較し依然として高い水準となっているため引き続き対策を検討する必要があります。また、大和駅周辺の治安向上が大和市の体感治安を向上させると考えられるため、駅利用者にアンケートを実施し、今後の方針を検討していきます。		
		※市内の刑法犯認知件数については、平成15年のピーク時には6,427件ありましたが、令和2年は1,171件にまで減少し、ピーク時と比較して8割以上減少しました。特殊詐欺については、電話機購入費補助金の交付をはじめとする詐欺対策を実施してきたところであり、令和元年度と2年度の被害件数、被害金額ともに2年連続で前年度より減少しました。				